

★電子情報技術科★

東京地区総合順位 6 位

学生チーム内 1 位

New

ETロボコン地区大会に参加してきました！！

9月3日(日)に早稲田大学で開催されたETロボコン東京地区大会に参加してきました。

電子情報技術科では、卒業制作実習のテーマの1つとしてETロボコンに取り組んでおり、今年度も2年生6名で取り組みました。今回は東京地区大会の結果を報告します。

競技部門の結果は54チーム中11位となりました。また、競技部門とモデル部門を合せた総合順位は、企業チームが多かった大会2日目において21チーム中6位という結果になりました。学生チーム内では四大チームも参加する中、堂々の第1位を獲得することができました。企業チームの参加率が70.3%(全国平均約49%)と高い、激戦の東京地区で大健闘の結果を残すことができました。この結果は夏休み返上で頑張ったチーム全員の努力の成果だと思えます。

今年の大きな成果は走行速度の大幅な向上もあげられますが、学生チームで唯一モデルランク「B」をもらえたことが非常に大きな成果だったと思えます。これまで、モデル部門については企業チームに歯が立たないという認識でしたが、企業チームに伍する戦いができたことで、チームとしては大きな手応えを得ることができました。この結果を糧に、次年度も更なる飛躍を目指しチャレンジしていきたいと思えます。

鈴木君、成瀬君、原田君、福君、古里君、森田君、お疲れ様でした。また、地区大会に応援に来てくれた先輩の上野君、竹本君、市川君、大関君、ご支援いただいた関係者の皆様ありがとうございました。(平成29年9月)

総合順位	ゼッケン	チーム名	所属	モデルランク	リザルトタイム
1	DP-55	下町ロボット	UTシステム(株)	B+	13.1
2	DP-52	Freshmen A	SCSK株式会社 車載システム事業本部	B+	22.7
3	DP-56	HCM-DOS	日立建機株式会社	A-	42.8
4	DP-43	SIN171°	ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ株式会社	B+	44.3
5	DP-53	巨匠・石山岩尾	(株)富士通コンピュータテクノロジーズ	B	28.9
6	DP-50	PCC2017	千葉職業能力開発短期大学校 電子情報技術科	B	23.0
7	DP-44	Freshmen B	SCSK株式会社 車載システム事業本部	B	46.9
8	DP-63	立川シックス	富士アイティ株式会社	B	39.2
9	DP-49	ハイテクーガーさんチーム	株式会社 日立ハイテクノロジーズ	B-	22.6
10	DP-61	キングコンボ	ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ株式会社	B-	74.8
11	DP-51	TeamITI	TDCソフトウェアエンジニアリング株式会社	C+	23.1
12	DP-57	おちポット	日立オートモティブシステムズ株式会社	B-	99.1
13	DP-58	Freshmen C	SCSK株式会社 車載システム事業本部	B-	124.3
14	DP-62	さわリスト	日立オートモティブシステムズ株式会社	C	-1.2
15	DP-46	EQUUS	千葉工業大学工学部電気電子情報工学科	C	49.1
16	DP-45	走れ!TJ君!!E2	TDCソフトウェアエンジニアリング株式会社	C	217.1
17	DP-59	チーム・エリオット	早稲田大学 鷺崎研究室	C+	222.0
18	DP-60	ハナムフラライダー	理和科学工業株式会社	B-	220.0

東京地区プライマリークラス総合順位(上位のみ抜粋)

ETロボコンとは？

ETロボコンは正式名を「ET ソフトウェアデザインロボットコンテスト」といいます。ETロボコンは愛称。

オープン参加型で産学官連携協力により開催され、日本の産業競争力に欠くことのできない重要な「組込みシステム」分野における技術教育をテーマに、決められた走行体で指定コースを自律走行する競技です。

同一のハードウェア(LEGO MindstormsTM)に、UML等で分析・設計したソフトウェアを搭載し競うコンテストです。

※UML(Unified Modeling Language)

競技内容は2部門3クラス(デベロッパー部門にプラマリークラスとアドバンスクラスの2クラスがあり、更に別の部門としてアーキテクト部門が1つあります。)

今年は9月に地区予選が開催され、10月に本大会が開催されます。

受験生の皆様、電子情報技術科に入学してETロボコンをやってみませんか！！



森田圭亮 選手(宮崎県出身)

ET ロボコンは日々の授業で学習するプログラミング技術や設計に関する知識だけではなく、さらに高度な技術や知識を要求されます。また、チームで企画開発するという実践に即した形で進行するので、良い結果を残すにはチームワークが重要になってきます。私たちはそのような個々の課題に対して解決案を模索し乗り越えてきました。

その結果、東京地区学生チーム全体で総合評価 1 位を取ることができました。ET ロボコンで良い成果を残せたことは自信にもなりまし、さらなる目標にチャレンジする原動力にもなりました。活動を通して得たものは非常に大きかったです。

**福 守朗 選手(県立千葉北高校出身)**

ET ロボコンは「大変」の一言です。1 から 10 まで教えてくれる学校の授業とは違い、何から何まで自分たちで考えなくてはなりません。設計・プログラミングの勉強もしなければいけませんし、チーム力も問われます。私達の場合は全てが足りない状態で、時間もかかりましたし、非常に苦労しました。しかしその分得たものも多く、充実した時間でした。



鈴木祐一 選手(県立若松高校出身)

ETロボコンに携わったことで組み込み系のプログラムの大変さを実感しました。思った動作をしてくれないとき原因を探すのに時間がかかったり、コーディングや動作の流れを考えるなどプログラムを作ることに時間もかかり、時間をいかに有効に活用するか考えさせられる活動でした。

遅くまで作業していたり、長い時間PCと向き合っていたり作業を投げ出したくなることもありましたが、うまく動作してくれたときや問題が解決してくれたときの達成感は今でも忘れられません。学生生活の中で一番有意義に過ごすことができた時間でした。



原田 憲 選手(県立小倉西高校出身)

ETロボコンに携わって、自分で考えたプログラム通りにロボットが動かないことが多く大変でした。しかし、試行錯誤を繰り返し自分の思い描いていた動きをしてくれた時に達成感を感じました。大会では悔いの残るところもあったが、良い成績を残すことができたので良かったです。



成瀬 選手(島根県出身)

私たちは今回 ET ロボコンに参加し、いろいろな体験をすることができました。モデルもプログラミングと同様軽視できるものではなく、大会の採点において言うのであれば、プログラミングよりも重要視するべきものとなっていました。モデルがあってそこからプログラムを作成する。そして失敗からまたモデルを研鑽し、推敲を重ね、より良いプログラムを作り上げていく。

車体の構成、部品の選別、提出するシートへの美的センスの追及、チームの意見の統合などそれらすべてが今回の結果に結びついたと思いました。



古里凌央 選手(私立鹿児島高校出身)

私は ET ロボコンのプログラムを担当しました。最初は、C++言語の勉強から始め、次に、去年、大会に出場した先輩たちのプログラムがどういう動きをするのかという読み込みの作業をしました。その2つの過程を終えてから自分たちオリジナルのプログラムを制作していききました。制作していく中で何回も躓きましたが、チームのみんなで色々な案を出し合って、最高のプログラムが完成できたので本当に良かったです。





① 東京地区大会会場

試走会とは違い小学生から年配者、マスコミまで多数の方々が観戦しています。



② 試走前の準備をしているところ(原田君(中央左)と福君(中央右))

試走時間は 15 分×2 回しかありません。この時間で最終セッティングを行います。



③ Rコースの試走でガレージインした走行体(右下)

何度もテストを繰り返してきたので、完成度は高いものとなっております。



④ Lコースの試走で難所の階段を攻略中の走行体(左下)

学校では階段を下りるところまでは安定していたのですが、当日の試走では安定しません。急遽、本番に向けプログラムの修正を行いました。



⑤ 大会開始後、入場待ちをしているチーム PCC2017

あとは学校での走行ができれば結果は付いてくるはずですよ。頑張れ～！！

(前から順に福君、原田君、森田君、鈴木君)



⑥ 当日は、岩崎部長も応援に来て下さりました。ありがとうございます！！



⑦ いよいよ一走目スタートです。緊張な面持ちで出走準備をする福君(左)と原田君(右)



⑧ 緊張のなか出走準備をする福君
落ちついて～！



⑨ 本番走行中にインタビューを受ける森田君(左)と鈴木君(右)



⑩ 続いて二走目スタートです。原田君(中央手前)と福君(中央奥)



⑪ 卒業した先輩たちとの交流

上野先輩、竹本先輩、市川先輩、大関先輩、応援ありがとうございました。

順位	記録	チーム名	地区	走行タイム	リザルト	所属
1	2017/9/3 20:04	さわリスト	東京	56.8	-1.2	日立オートモティブシステムズ株式会社佐和
2	2017/9/2 19:07	JEC幻のみっちーず	東京	57.5	-0.5	日本電子専門学校 高度情報処理科
3	2017/9/2 19:08	tadaina G2	東京	60.9	2.9	情報技術開発株式会社
4	2017/9/2 19:07	日本工学院専門学校蒲田B	東京	64.7	11.7	日本工学院専門学校蒲田校
5	2017/9/3 20:04	下町ロボット	東京	51.1	13.1	UTシステム株式会社
6	2017/9/2 19:08	追跡線隊HIICSレッド	東京	55.6	17.6	株式会社日立産業制御ソリューションズ
7	2017/9/2 19:08	NOZOMI	東京	53.3	20.3	横河電機株式会社
8	2017/9/3 20:04	ハイテカーガーさんチーム	東京	60.6	22.6	株式会社 日立ハイテクノロジーズ
9	2017/9/3 20:04	Freshmen A	東京	55.7	22.7	SCSK株式会社 車載システム事業本部
10	2017/9/2 19:07	サムライパンダ	東京	70.7	22.7	株式会社日立超LSIシステムズ
11	2017/9/3 20:04	PCC2017	東京	56	23	千葉職業能力開発短期大学校 電子情報技術科
12	2017/9/3 20:04	TeamITI	東京	61.1	23.1	TDCソフトウェアエンジニアリング株式会社
13	2017/9/2 19:07	I T 短大ロボコンチーム	東京	67.1	24.1	茨城県立産業技術短期大学校 情報システム科
14	2017/9/2 19:08	追跡線隊HIICSブルー	東京	59.2	26.2	株式会社日立産業制御ソリューションズ
15	2017/9/2 19:07	かりかりあげぼんだ	東京	66.6	28.6	株式会社日立超LSIシステムズ
16	2017/9/3 20:04	巨匠・石山岩尾	東京	66.9	28.9	株式会社富士通コンピュータテクノロジーズ
17	2017/9/2 19:07	藤レーシングチーム'17	東京	75	37	株式会社OKIソフトウェア
18	2017/9/2 19:07	HIKARI	東京	56	38	横河電機株式会社
19	2017/9/3 20:04	立川シックス	東京	72.2	39.2	富士アイティ株式会社
20	2017/9/2 19:07	アンドールよろこん部	東京	83.2	40.2	アンドールシステムサポート株式会社
21	2017/9/3 20:04	HCM-DOS	東京	75.8	42.8	日立建機株式会社
22	2017/9/3 20:04	SIN171°	東京	62.3	44.3	ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ株式会社
23	2017/9/2 19:07	JEC地獄の守川軍団	東京	63.8	45.8	日本電子専門学校 高度情報処理科
24	2017/9/3 20:04	Freshmen B	東京	64.9	46.9	SCSK株式会社 車載システム事業本部
25	2017/9/2 19:08	JECタフガイ	東京	61.2	48.2	日本電子専門学校 情報システム開発科
26	2017/9/3 20:04	E Q U U S	東京	77.1	49.1	千葉工業大学工学部電気電子情報工学科
27	2017/9/2 19:07	牧場の帝王	東京	75.1	52.1	日本無線株式会社
28	2017/9/2 19:07	MIS	東京	82.7	59.7	株式会社KSK
29	2017/9/2 19:07	AGILE PENTAGON	東京	87.6	69.6	株式会社 アジルコア
30	2017/9/2 19:08	オサワラ工業所	東京	88	70	株式会社日立ソリューションズ
31	2017/9/3 20:04	キングコンボ	東京	87.8	74.8	ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ株式会社

⑫ 東京地区プライマリークラス競技部門結果(上位のみ抜粋)

上位を目指していただけに学校での走行ができなかったことは少々心残りではありますが、大会の反省を踏まえチームおよび個人のスキルアップに努めていきたいと思ひます。